年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（２学年用）　教科　保健体育　　科目　保健

対象学年組：第　２学年　Ａ　組～　Ｆ　組

使用教科書：（ 現代高等保健体育　大修館書店 ）

使用教材：　（ 現代保健体育ノート ）

単元の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 生涯を通じた健康に関する内容を理解し、

【思考力、判断力、表現力等】 交通安全について，習得した知識を基に，事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を

【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・各ライフステージと健康の関連について理解し、説明できる。 ・障害の各段階における社会からの支援等について例をあげて説明できる。	・生涯の各段階における健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。	生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	①オリエンテーション 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には，生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できる 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組むことができる。	①オリエンテーション 欠時や単位数、考査の回数等について理解させる。 授業のルールを理解させる。 ②ライフステージと健康 ③思春期と健康 ④性意識と性行動の選択 ⑤妊娠・出産と健康 ⑥避妊法と人工妊娠中絶 ⑦結婚生活と健康 ⑧中高年期と健康 ⑨働くことと健康 ⑩労働災害と健康 ⑪健康的な職業生活	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には，生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
2学期	①安全な社会づくり 【知識及び技能】 ・安全な社会づくりには，環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また，交通事故を防止するには，車両の特性の理解，安全な運転や歩行など適切な行動，自他の生命を尊重する態度，交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに，それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組む態度を養う。 ②応急手当 【知識及び技能】 ・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には，正しい手順や方法があること。また，応急手当は，傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから，速やかに行う必要があることを理解しているとともに，心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに，それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	①安全な社会づくり ・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全 ②応急手当 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法 健康を支える環境づくり ①大気汚染と健康 ②水質汚濁、土壌汚染と健康 ③環境と健康にかかわる活動 ④ごみの処理と上下水道の整備	①安全な社会づくり 【知識及び技能】 ・安全な社会づくりには，環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また，交通事故を防止するには，車両の特性の理解，安全な運転や歩行など適切な行動，自他の生命を尊重する態度，交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに，それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ②応急手当 【知識及び技能】 ・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には，正しい手順や方法があること。また，応急手当は，傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから，速やかに行う必要があることを理解しているとともに，心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに，それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
3学期	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 環境の汚染と健康，環境と健康に関わる対策，環境衛生に関わる活動について，理解することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 環境と健康について、それらに関わる事象や情報などを整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 環境の汚染と健康、環境と健康にかかわる活動について、課題の解決に向けた学習活動に主体定位取り組むことができる。	健康を支える環境づくり ⑤食品の安全性 ⑥食品衛生にかかわる活動 ⑦保健サービスとその活用 ⑧医療サービスとその活用 ⑨医療品の制度とその活用	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 環境の汚染と健康，環境と健康に関わる対策，環境衛生に関わる活動について，理解することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 環境と健康について、それらに関わる事象や情報などを整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 環境の汚染と健康、環境と健康にかかわる活動について、課題の解決に向けた学習活動に主体定位取り組もうとしている。				5
							合計 32